

船舶建造に係る支援制度

制 度	地域における受入環境整備促進事業補助金	地域未来交付金
目 的 等	ストレスフリーで快適な旅行を満喫できる環境及び災害など非常時においても安全・安心な旅行環境の整備を行うとともに、オーバーツーリズムの防止等により、地域・旅行者の双方がメリットを享受できる環境づくりも念頭に、持続可能な観光地域づくりに資する環境整備の促進を目的とする。	従来の地方創生に資する取組のみならず、地方公共団体による産業クラスター計画や地場産業の成長戦略が真に地域の活力を最大化することにつながるような取組を推進することで、地方の暮らしの安定を実現し、「強い経済」を構築することを、地域未来交付金の目的とする。
所 管	国土交通省	内閣府

地域における受入環境整備促進事業補助金

名 称	地域における受入環境整備促進事業補助金	
事 業	交通サービスインバウンド対応支援事業	交通インバウンド環境革新等事業
目 的 等	訪日外国人旅行者の入国から目的地までの移動を円滑に実施するために、空港、港、鉄道駅、バスターミナル等の拠点、車両・移動経路・情報提供・交通サービスに係るインバウンド対応を実施する事業	空港・港湾から、訪日外国人旅行者の来訪が特に多い又はその見込みがあるものとして観光庁が指定する市区町村に係る観光地（特定観光地）に至るまでの公共交通事業者等の事業に係る交通サービスの利用環境を刷新するため、訪日外国人旅行者のニーズが特に高い取組等を一体的に進める事業又は利用者にとっての最適経路による移動手段と観光サービスを一括して提供することで特定観光地における周遊を促す事業
補助対象事業者	一般旅客定期航路事業者、（中略）これらの者に船舶を貸与する船舶貸渡事業者	一般旅客定期航路事業者、（中略）これらの者に船舶を貸与する船舶貸渡事業者
補助対象経費	サイクルシップ（自転車解体せずに乗船することができる船舶）の導入、改造に要する経費 等	サイクルシップ（中略）の導入・改造に要する経費のうち車両本体及び車載機器類の価格、改造費 等
補助率	1／3	1／3

船舶建造に係る地域未来交付金活用事例【福山市／市営渡船】

- 福山市は、観光資源の磨き上げや新たな観光ルートの形成、海洋環境の改善、道の駅の再整備、サイクリングロードの整備等のほか、観光地である鞆の浦と仙酔島等をつなぐ観光船（立席含めて約100席）の新造船に伴う財源として、**新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）**（※）を活用。
- 総事業費は約5億1,000万円（3年）のうち、新造船費用は3億2,500万円（2年）。



Googleマップからのスクリーンショット



福山市のホームページから抜粋

（※）新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）

地方がそれぞれの特性に応じた発展を遂げることができるよう、日本経済成長の起爆剤としての大規模な地方創生策を講ずるため、地方公共団体の自主性と創意工夫に基づく、地域の多様な主体の参画を通じた地方創生に資する地域の独自の取組を計画から実施まで強力に後押しするための交付金。

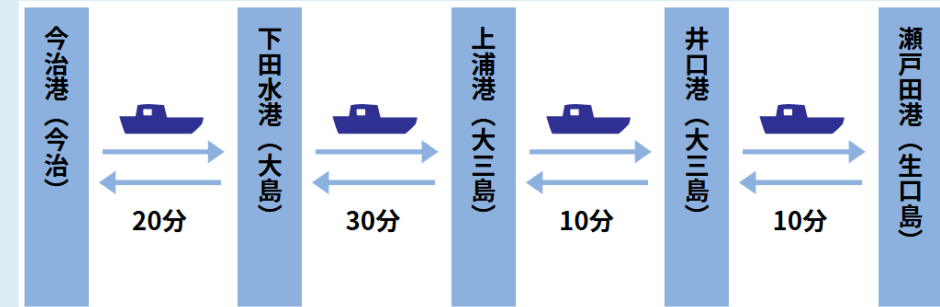
現在は、地場産業の付加価値向上等を通じた地方の暮らしの安定の実現、「強い経済」を構築するための大規模な地方創生策の推進等を目的として、「**地域未来交付金**」に改称された。

サイクルシップの事例①（地域における受入環境整備促進事業補助金の活用なし）

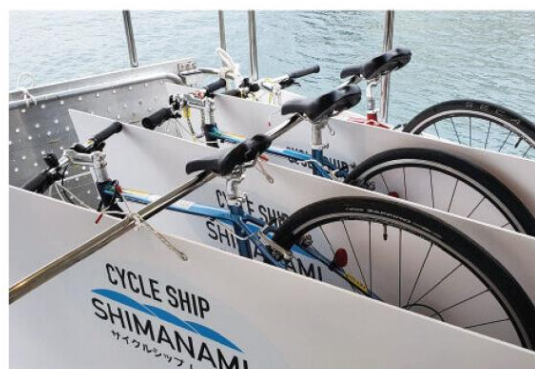
サイクルシップしまなみ(しまなみ海道(今治～瀬戸田))



旅客定員:70名
自転車積載台数:約50台



屋上オープンデッキ



サイクルスタンド



自転車用スロープ

(株)しまなみのホームページから抜粋

サイクルシップの事例②（地域における受入環境整備促進事業補助金の活用なし）

サイクルシップ ラズリ(しまなみ海道(尾道～瀬戸田))



旅客定員:75名
自転車積載台数:約50台



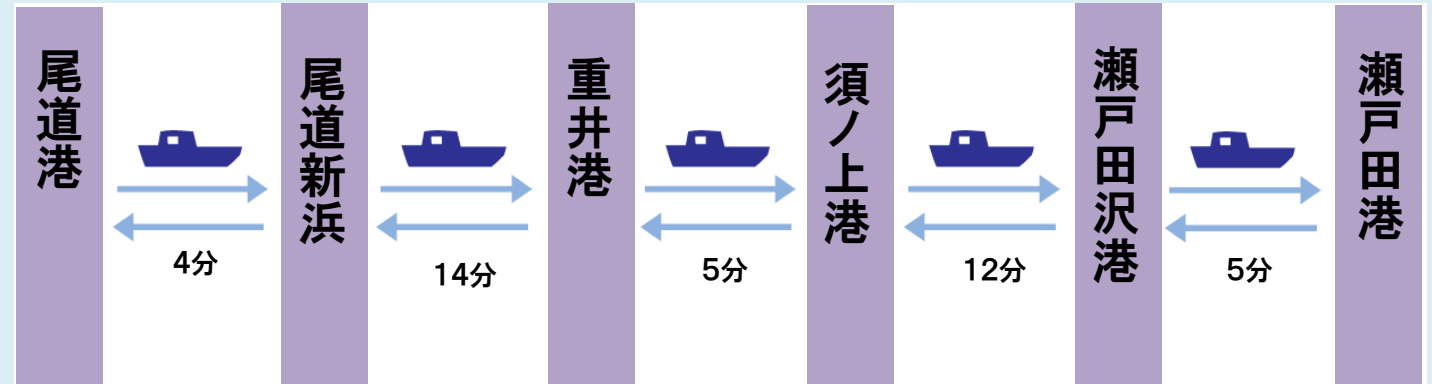
オープンデッキ



サイクルスタンド



階段(タイヤ溝あり)



サイクリング環境(三重県側)

- 三重県南部(鳥羽市以南)は、ナショナルサイクルルートである太平洋岸自転車道(千葉県銚子市から神奈川県、静岡県、愛知県、三重県、和歌山県和歌山市に至る、延長約1,400kmの太平洋岸を結ぶ自転車道構想)の一部に設定されている。
- 近鉄松阪駅ー賢島駅間(松阪駅ー五十鈴川駅間は土休日のみ)でサイクルトレインが運行している。

※ナショナルサイクルルート・・・日本が誇る観光資源とサイクルツーリズムを掛け合わせ、自転車の走行環境や休憩・宿泊施設など、一定の水準を満たすルート为国が指定



サイクリング環境(三重県側)

- 三重県では、県民も来訪者も自転車を安全で快適に利用できる環境づくりを目的に、「**三重県自転車活用推進計画**」を策定(令和2年3月策定、令和6年3月改定)。「自転車を活用した地域の魅力づくり」、「サイクルスポーツの普及と自転車を活用した健康づくり」、「自転車を安全に安心して利用できる環境整備」の3つの目標を柱に施策が記載。
- 自転車を活かしたまちづくりを伊勢志摩地域で連携して取り組むため、3市5町(伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町、明和町)が合同で、「**伊勢志摩地域自転車等活用推進計画**」及び「**伊勢志摩地域自転車ネットワーク計画**」が策定(令和6年2月)された。
- 「**伊勢志摩地域自転車等活用推進計画**」は、地域において、自転車利用環境、観光、健康、スポーツ、交通安全、環境等あらゆる分野で自転車が総合的かつ計画的に活用されるよう、短期的な土台づくりや中長期的な将来めざす姿など、具体的な取り組み内容などを整理・実現していくことを目的に策定。自転車利用環境の形成、サイクルツーリズムによる観光地域づくり、サイクルスポーツの振興等による健康長寿地域づくり、自転車の安心・安全利用の促進といった方針の下、それぞれ取り組む施策が記載されている。
- 「**伊勢志摩地域自転車ネットワーク計画**」は、自転車通行環境の面的な整備に向け、安全で快適な自転車ネットワーク構築に計画的に取り組むことを目的として策定。自転車ネットワークの整備方針等が記載されている。

サイクリング環境(中部国際空港側)

- 中部国際空港付近には、知多半島サイクリングロード(武豊町と大府市を結ぶ延長31.1kmの半島縦断自転車道)や、知多半島の沿岸を走るコースなどがあり、名所旧跡も多く、サイクリストから人気がある。

愛知県のサイクリングロード

急速な社会変化の中で、余暇の増大による野外でのスポーツ・レクリエーション活動、高齢化社会における健康づくりへの関心の高まり等が見られます。このような社会情勢に応じて、愛知県ではスポーツ・レクリエーションとしてのサイクリングが安全にしかも快適に楽しめる自転車道の整備を進めています。



田原豊橋自転車道 (渥美サイクリングロード)

渥美サイクリングロードは、太平洋岸自転車道(千葉県銚子市から和歌山県和歌山市までの約1,200km)のうちの、愛知県内ルートとして計画が進められている54.8kmの自転車道で、太平洋の雄大な風景が魅力です。(整備中)



豊田安城自転車道

豊田安城自転車道は、豊田市、安城市街地を南北に縦貫する枝下・明治用水路の管路化に伴い、その上部を有効利用して整備された36.3kmの自転車道です。明治用水路にまつわる名所や文化施設を結び、豊かな緑と水のせせらぎが心地よい自転車道です。(整備中)



知多半島サイクリングロードの概要

自然と歴史・文化のサイクルネットワーク

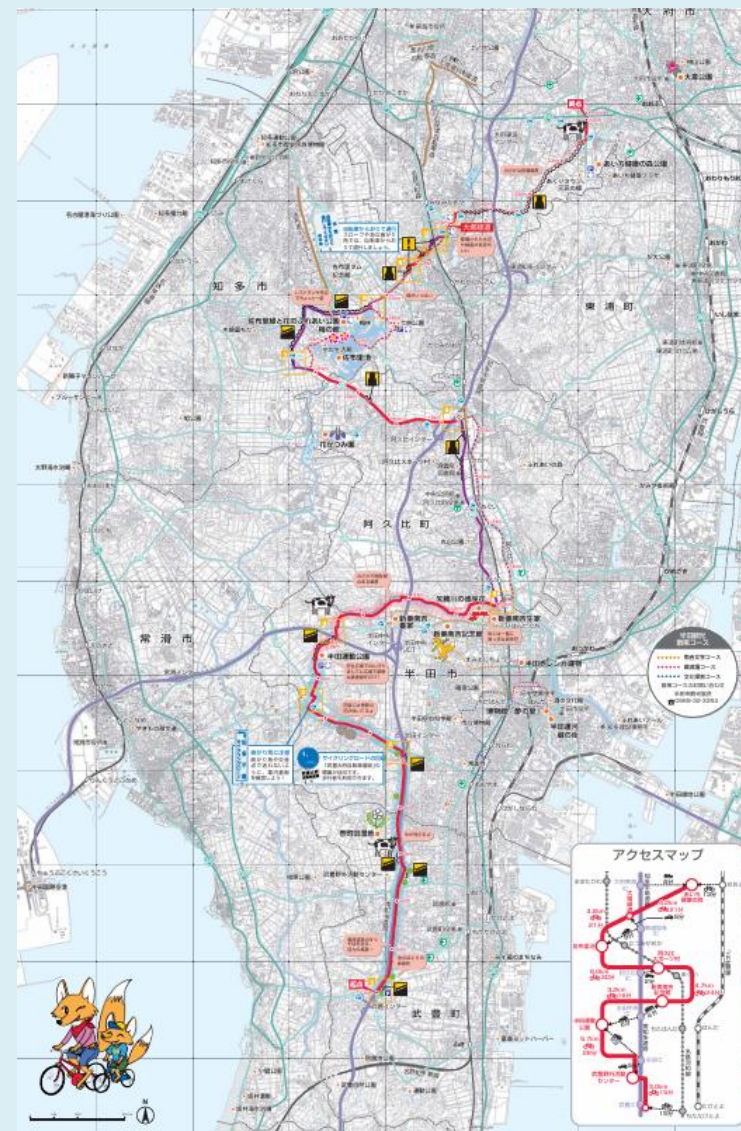
知多半島サイクリングロードは、武豊町と大府市を結ぶ延長31.1kmの半島縦断自転車道で、愛知用水や河川、自動車専用道路沿いを利用し、自転車歩行者専用道路として整備しています。

知多半島の豊かな自然、歴史、文化をつなぐ、人間交流の道として、「健康と長寿」の国際的拠点となるあいち健康の森をはじめ、地域に点在する名所旧跡や文化施設、公園、野外レクリエーション施設などのネットワークを考えてルートを選定しています。

ぜひサイクリングロードを利用して知多半島の魅力を再確認してください。

路線名	一般県道 武豊大府自転車道線
事業区間	武豊町字嶋田(一般県道大谷富貴線) ～大府市吉田町(一般国道155号)
区間延長	31.1km
幅員	有効幅員3.0m

知多半島サイクリングロード



知多半島サイクリングロード「ルートマップ」から抜粋

中部国際空港島

- ・ 愛知県名古屋市の中心部から南へ約35 km、知多半島の愛知県常滑市の沖合約1.5 kmの伊勢湾海上の人工島
- ・ 空港島へのアクセスは、津なぎさまちからの高速船のほか、車(自家用車、タクシー、バス等)、電車(名鉄)に限られ、分解や折りたたまずに自転車で空港島外への行き来ができない

(参考) 中部国際空港へのアクセス



中部国際空港ホームページから抜粋



名古屋鉄道ホームページから抜粋



Googleマップからのスクリーンショット